

# 観光情報の類別に地域資源が与える影響

—— 流山市、小布施町、恵庭市のオープンガーデンの比較から ——

林 香織\*

## 要 約

本研究は、平成 25 年度科学研究費基盤研究 (C) 課題番号 25501015、「オープンガーデンマップの設計による観光情報の類別」、研究代表者：土屋薫、研究分担者：林香織、下嶋聖)の一環で行った、流山市、小布施町、恵庭市のオープンガーデンオーナーへの調査結果を踏まえ、オーナーが訪問客をどのように考えているのか、地域比較から明らかにしようとするものである。オーナーの考え方には、地域差があり、オープンガーデンが始まった経緯や実施形態による影響が大きいことが確認された。自分の庭を公開する理由は「庭」を通じた交流が主たる目的であるが、交流を阻害する要因は地図情報の不備にあることも併せて確認された。今後は、阻害要因をどのように地図に掲載できる可視化情報にしていくかが課題となる。

**キーワード**：観光情報、地域資源、オープンガーデン

## はじめに

本稿は、オープンガーデンを観光資源としてとらえた際、発信すべき情報の類別化を試みることを目的としている。オープンガーデン先進地域として焦点を当てたのが、千葉県流山市、長野県小布施町、そして北海道恵庭市である。オープンガーデンの成り立ちや実施方法、地域特性の異なる3地点で、自身の庭を公開しているオーナーに対するアンケート調査を行った。オーナーは、訪問客に対しどのような意識を持っているのか、またどのような点に苦労しているのかを検証し、オーナーの負担を軽減するような情報とは何かを検討していく。また、オーナーの意識は地域によって異なるものなのかを検証するための比較分析を併せて行い、それぞれの地域特性にマッチした情報のパターン化を試みるものである。

なお、本研究は、平成 25 年度科学研究費基盤

研究 (C) 課題番号 25501015、「オープンガーデンマップの設計による観光情報の類別」、研究代表者：土屋薫、研究分担者：林香織、下嶋聖)の一環として行われた。

## 1. 研究背景と先行研究の整理

レジャー白書 2014<sup>(1)</sup>によると、もっとも重視する余暇活動のうち「園芸・庭いじり」は、「国内観光旅行」「読書」「海外旅行」「ウォーキング」に次いで5位にランクされ、行為者の多い余暇活動である。特に60歳以上の年代で人気を得ているが、これは退職後にできた時間的ゆとりが、行為者率を上げたものと考えられる。筆者が近年、研究対象としてきたオープンガーデンは「園芸・庭いじり」の延長に位置付けられるが、個人的な楽しみを目的とした「園芸・庭いじり」とは一線を画する行為でもある。オープンガーデンは、余暇活動の成果を披露する場とも考えられるが、実際のオープンガーデンは、町おこしの一環であったり、街並みの景観事業の一環として行われていたり、個人の余暇活動とは若干趣が異なってい

2014年11月30日受付

\* 江戸川大学 マス・コミュニケーション学科専任講師  
社会学、コミュニケーション学、メディア論

る。土屋は、流山市のオープンガーデンを「町あるきにおける観光情報を提供する場」と位置付け(土屋,2013)、訪問者にとって必要な情報の整理を試みている。オープンガーデンは本来観光資源ではない。観光地として整備されたことのない、ごくありふれた住宅地が、住民の余暇活動の結果、“見るべきもの”が創出した、いわゆる着地型観光の資源としてとらえることができるだろう。

オープンガーデンが地域社会にもたらす影響について考察した北川は、オープンガーデンのオーナーと訪問者の双方にアンケート調査を行い、「ガーデニング活動及びオープンガーデンは、コミュニティが形成され地域の景観が向上されやすくなる」ことを見出したという(北川ら,2004)。しかし、この調査は限定的な1地域のみで行われており、地域特性が加味されていない。

また、相田らは、オープンガーデンのオーナーと訪問者の関係性を「『庭園主』は『来訪者』とガーデニングの情報交換といった交流をし、『来訪者』は『個人庭園』をまちなみとして景観認識する」と整理し、オープンガーデンの意義について検討を行っている(相田ら,2001)。ただ、訪問時に必ずオーナーが在宅しているとは限らず、また、必ずしもオーナーと訪問者との間で、ガーデニング情報のみが交換されているわけではない。流山オープンガーデンのオーナーの一人は、訪問者と写真を撮り、住所を交換して、手紙のやり取りを行うなど、オープンガーデンを通じて、人間関係を広げている。また、訪問者は必ずしもガーデナーではなく、これから庭づくりに取り組もうとしている人、マンションなので、自分では難しいが、きれいなお花を見に来たなど、動機も目的も様々である。それこそが、着地型観光としてオープンガーデンが成り立つ面白さだと考えられる。しかし、その裏で、オーナーはどのような苦勞をしているのか、お客様に何をきかれ、どのような交流をしているのかに焦点を当てた研究は少ない。そのため、本研究では、3地域の比較のため、オーナーに対する質問紙調査を行うことにした。

## 2. 研究対象地域の整理

次に、本研究で対象とする地域におけるオープンガーデンの開催状況などについてみていく。

### 2.1 千葉県流山市

流山市の人口は、17万1,941人(2014年11月現在)<sup>(2)</sup>。千葉県北西部に位置する流山市は、2006年に開通した、つくばエクスプレスによって都心から25分程度で結ばれる距離に位置しているにも関わらず、多くの自然に囲まれた静かな住宅地であるため、「都心から一番近い森の街」をキャッチフレーズとしている。つくばエクスプレス開業とともに、宅地造成が活発化し、共働きの子育て世代を積極的に誘致したことで、若い世代の人口が増加。近年は、“東の二子玉”というブランドイメージを構築しようと、マーケティング戦略を展開している。

流山市のオープンガーデンは、花恋人(かれんと)というガーデニングクラブによって2005年11月に千葉県内初の取り組みとして始まった。流山市が主催した「ガーデニングコンテスト(2005年)」に庭の写真を撮影して応募した参加者に声をかけ、立ち上げたガーデニングクラブである。宅地造成の結果失われつつあった緑を、個人宅のガーデニングによって取り戻していこうと企画されたのが、「ガーデニングコンテスト」であった。こうして40名ほどで発足した花恋人も、現在は80名を超える。2006年から5月に3日間、自分の庭を公開する「統一公開日」を設けている。通年公開の家もあるが、この3日間をめがけて、毎年3,000名を超える訪問者が流山市内に点在する、花恋人の会員宅を訪ねる一大イベントとなっている。

### 2.2 長野県小布施町

長野県小布施町の人口は、1万1,318人(2014年11月現在)<sup>(3)</sup>。長野県の北東に位置する小布施町は「栗と北斎と花のまち」として知られている。600年の歴史を持つ小布施栗や栗を使った銘菓、

葛飾北斎や小林一茶をもてなしてきた、小さな町の秋は大変忙しい。新栗の季節しか味わえない限定の栗菓子に、朝から人びとが行列をなしていく。小布施は四季を通じて果物の収穫も体験できるなど、見どころも多い。

小布施町では、1980年から「町を美しくする事業推進委員会」を発足させ、地区単位での美化運動が開始された。それを契機とし、1980年代に「うるおいのある美しいまちなみづくり」を目指して、緑化、花壇づくりなどが積極的に行われてきた。1991年に第3次総合計画で盛り込まれたのが「外はみんなのもの、内は自分たちのもの」という概念である。個の連鎖によって、街を共有していくことで一体感をなしていこうという試みは、やがて花を主体とした街づくりだけでなく、外から来た客人をもてなす気持ちにつながっていく。2000年にそうした行政と町民が一体となって取り組む花を主体とした街づくりを、訪れた人にも感じてもらうということから、オープンガーデンが始まった。当初は38軒でスタートしたが、現在は126軒のお宅がオープンガーデンに参加するまでに成長を遂げた。

### 2.3 北海道恵庭市

北海道恵庭市の人口は、6万8,932人（2014年11月現在）<sup>(4)</sup>。恵庭市は、北海道石狩平野の南西に位置し、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置している。支笏洞爺国立公園を後背地に持つ恵庭溪谷など、自然の観光スポットだけでなく、市の中心部は「ガーデニングのまち」として全国的に関心を集めている。交通アクセスと穏やかな気候風土を持つことから、住宅地としての整備が行われてきた。現在恵庭市では、総合計画として将来の都市像を「水・緑・花 人がふれあう生活都市」とした、まちづくりが行われている。

1980年代に分譲を開始したニュータウン恵み野に住む住民たちが、1990年代に、住宅が古くなっても美しさを維持できる街づくりをめざし、世界的に有名なガーデニングシティであるニューゼalandクライストチャーチ市を視察する。視察に参加した一人の内倉真由美さんを中心に、ガ

ーデニングによる街づくりを訴え、参加者を募っていった。「花づくり愛好会」から始まった活動は、「恵み野フラワーガーデニングコンテスト」へと発展、現在は「美しい恵み野花のまちづくり推進協議会」を中心に、まちづくりだけでなく、観光客にオープンガーデンを案内する花ガイドを派遣するなどの活動も行うようになった。オープンガーデンが始まったのは、1990年代から。毎年6月には、「恵庭 花とくらし展」が開催される。2014年に第25回を向かえたこのイベントと、北海道にオープンガーデンを定着させていった先駆者として、恵庭市は毎年多くの観光客をむかえている。

### 2.4 小括

3地域はそれぞれ、立地やオープンガーデンの形態が異なっている。流山市のオープンガーデンは、ガーデニングクラブの会員によって行われているものであるが、それ以外の地域では、特に何かの会員である必要はない。そのため、オーナー同士、誰がオープンガーデンに参加しているのかを知らない、また自分がオープンガーデンのマップに掲載されていることも知らないといったケースもあるようだ。また、小布施町には「花」以外の観光スポットが点在しているのに対し、流山市と恵庭市は住宅街でオープンガーデンを行い、市内の見どころとして利用している。

実際に足を運ぶと、気候風土の問題で、植えられている花や草木の様子が異なるため、庭の雰囲気もだいぶ異なる。また、流山市のオープンガーデンでは、統一公開日にはオーナーはほぼ在宅しており、オーナーが訪問客を気さくにもてなしているケースが多いが、統一公開日以外の日は、小布施町や恵庭市と同じように、オーナーと話をするという機会は多くはない。小布施町と流山市の有料のオープンガーデンガイドブック（共に100円）を利用すればオーナーと連絡をとることが可能だが、恵庭市のオープンガーデンマップ（無料）には、オープンガーデンとしては公開していないが、花がきれいな見どころの家にもマークが記載されており、必ずしもオーナーとの交流を目的と

しない楽しみ方が提示されている。

### 3. 調査概要

先行研究を踏まえ、質問紙を作成し、オーナーへのアンケート調査を行った。

#### 3.1 調査対象者、調査方法

- a. 調査対象母集団：3地域で発行されているオープンガーデンマップ、およびガイドブックに掲載されているオーナー（恵庭市では「花のきれいな庭」として掲載されているお宅へも調査票を配布した）

全体：191 流山市：24 小布施町：126  
恵庭市：41

- b. 標本数：有効回答数 全体：137 流山市：23 小布施町：80 恵庭：34

- c. 調査時期：流山市：2014年9月 小布施町：2014年9月 恵庭市：2014年10月

- d. 調査方法：直接配布・郵送回収 自己記入式アンケート調査

- e. 回収率：流山市：95.8% 小布施町：63.5%  
恵庭市：83.0%

#### 3.2 質問事項

属性（性別、年齢、居住地域、居住年数、居住形態）、オープンガーデンとして公開する理由、訪問客からの質問内容、年間の訪問客数や回数、訪問客に求められていると思うこと、お庭の見どころ、訪問客との関係性、生活の考え方、メディア利用状況、余暇活動に対する考え方

### 4. 調査結果

まず、調査における属性を確認しておく（なお、単純集計結果については本稿に参考資料として掲載してある）。

性別は、男性31.4%、女性62.8%とやや女性に偏りが生じている。が、調査票回答記入上の注意として、「最もオープンガーデンに関わる時間の長い方」に記入をお願いしているため、オープンガーデンは女性主体で行われていることがわかる。

回答者の年齢は60歳代が49.6%で最も多く、70歳代以上が32.8%、50歳代が11.7%となっている。50歳以下の世代では、20歳代が0%、30歳代1.5%、40歳代3.6%となっており、レジャー白書の「園芸・庭いじり」を好む年齢と一致しているため、調査結果は妥当性が高い。

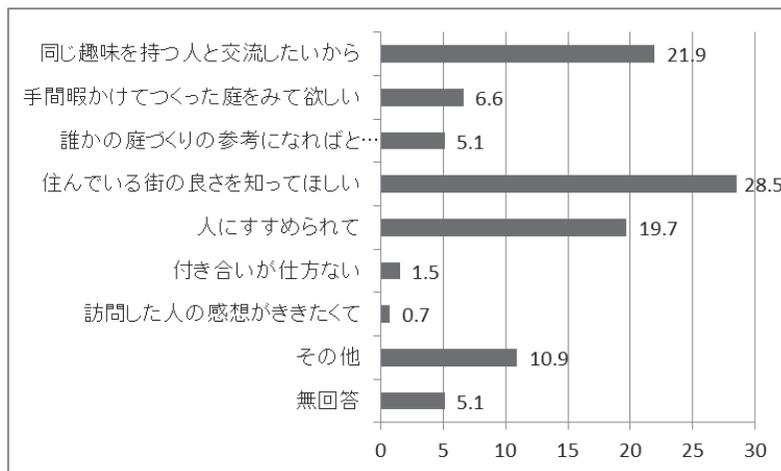


図1 オープンガーデンを始めた理由 (%)

オープンガーデンとして自身の庭を公開している理由についてたずねた結果が図1である。「住んでいる街の良さを知ってほしい」が28.5%で最も高く、「同じ趣味を持つ人たちと交流したいから」21.9%、「人にすすめられて」19.7%と続く。地域によって差があり (p<0.01), 流山市では「同じ趣味を持つ人と交流したい」割合が高く、小布施町では「住んでいる街の良さを知ってほしい」「人にすすめられて」という回答の割合が高い。このような差が見られる理由は、オープンガーデンの形態によるものと考えられる。ガーデニングクラブの会員を中心にオープンガーデンを実施している流山市のオーナーと、街の景観事業からオープンガーデンに取り組み始めた小布施町とでは、公開しようとする意識が違うことが見てとれる。小布施町や恵庭市では、「人にすすめられて」公開する割合が流山市に比べて高いが、2地域で

は、毎年マップやガイドブックの更新をする際に、参加してくれるオーナーを増やそうと、観光協会や役場の担当者、既にオープンガーデンに参加するオーナーが積極的に声掛けを行っていることが影響を与えている。なお、恵庭市は「その他」の回答が多くなっているが、「訪問される方が多いので」「町の活性化と美しい町づくりの意識につながると思うから」「来客の方に気持ち良くくつろいでいただきたいから」といった記載が見られる。自分の周りの家でオープンガーデンが行われることによって、いい意味で巻き込まれる形で参加していることが伺える。こうした巻き込まれ型の参加者がいることが確認されたことで、オープンガーデンが町づくりに果たす役割は大きいと考えられる。

次に、訪問者にどのような質問を受けているのかを訪ねた結果が、図3である。

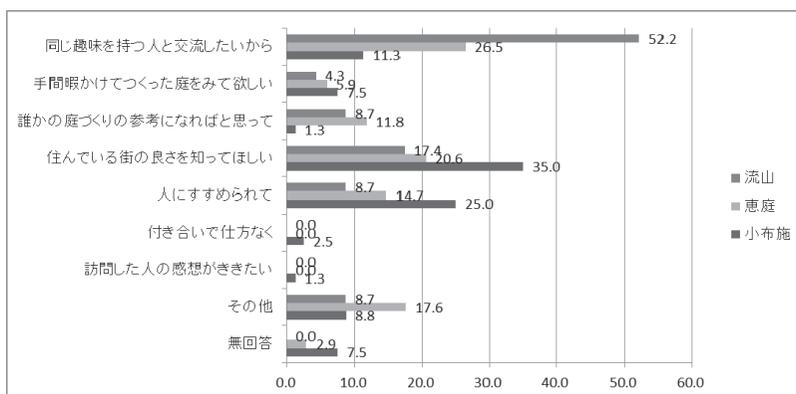


図2 地域別 オープンガーデンを始めた理由 (%)

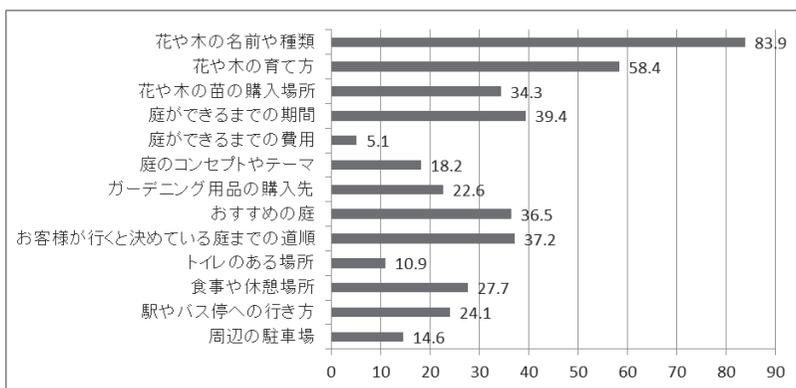


図3 訪問客に質問されたことがある項目 (%)

最も高いのは「花や木の名前や種類」の83.9%で、「花や木の育て方」58.4%、「今の庭ができるまでの期間」39.4%が続く。上位3項目は、オープンガーデンをすることで、“ガーデニング”に関する情報交換が、オーナーと訪問客との間でなされていることを示すものだが、その次の2項目はやや趣が異なる。「お客様があらかじめ行く決めてある庭までの道順」37.2%、「おすすめの庭（見た方がいい庭）について」36.5%が続いている。これは、訪問客にとっての、観光情報の不足部分といえるが、これを補うのもオープンガーデンのオーナーである。訪問客の地図リテラシーが関係しているが、今後この部分を補足するようわかりやすい地図づくりが望まれる。

訪問客に質問される内容のうち、地域によって

差のみられた項目をまとめたものが図4である（ $p < 0.001$  もしくは  $p < 0.01$ ）。すべての項目で流山市のポイントが高くなっているのは、統一公開日でのお客様と接触の多さが影響を与えたためである。逆に小布施町のオープンガーデンは、オーナーと会う機会があまり多くないところから、ポイントが低くなっていることは分析に際して考慮しておかなければならない。

流山市や恵庭市では、積極的にオーナーに対して訪問客がガーデニングに関連することを質問している姿が浮かびあがっている。テレビや雑誌に取り上げられる、ブログで情報しているオーナーも多い。逆に小布施町では、オーナーの庭づくりにフォーカスのある情報が他の2地域に比べて少ないことが影響を与えていると考えられる。

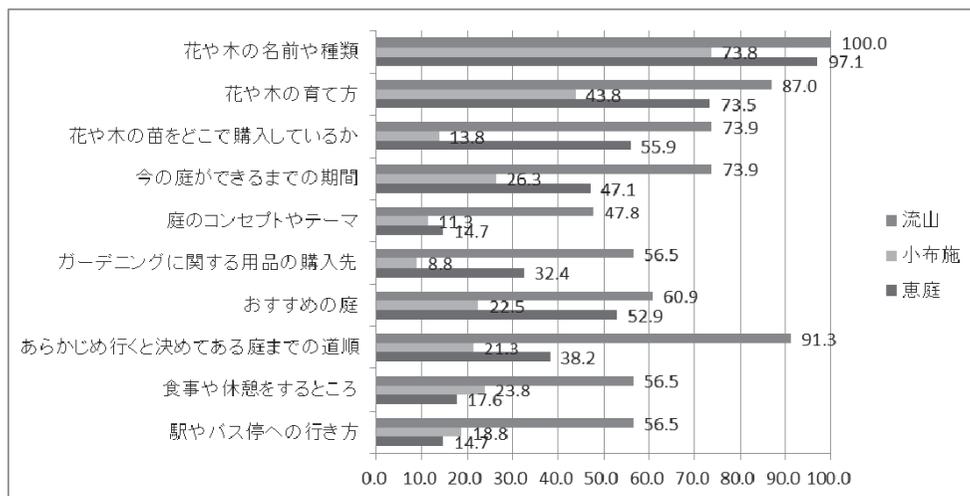


図4 地域別 訪問客に質問されたことがある項目 (%)

最後に、訪問客が庭を訪問する際にどのようなことを庭に求めていると思うかきいたところ、最も多いのは「庭の雰囲気を楽しみたい」64.2%、「花や草木を楽しみたい」59.1%、「自分の庭づくりの参考にするため」52.6%が続く。この項目は、オーナーが訪問客をどのようにとらえているかを知るために設計したが、地域によって全く異なる結果となった（図6  $p < 0.001$ ,  $p < 0.01$ ,  $p < 0.05$ ）。

流山市のオーナーは、訪問客を同じガーデニングを楽しむ人として認識していることが伺える。

訪問客が、「庭づくりの参考に」したいからオープンガーデンに参加していると考えているオーナーが、他の2地点より多いのが特徴的である。逆に小布施町のオーナーは、別のイベントや観光スポットをみるついでにと考えている割合が他の地域より高い。オープンガーデンを始めた経緯を考えると、町のコンセプトをオーナーが非常によく理解しているといえる。恵庭市のオーナーは、流山市のオーナーと似た傾向を示しているが、「意見をききたい」というよりは、「他の観光スポット

トのついで」の訪問客というとらえ方をしている。 周辺に観光スポットが点在している影響が大きい。これは、恵庭市の立地に関係があり、札幌やその

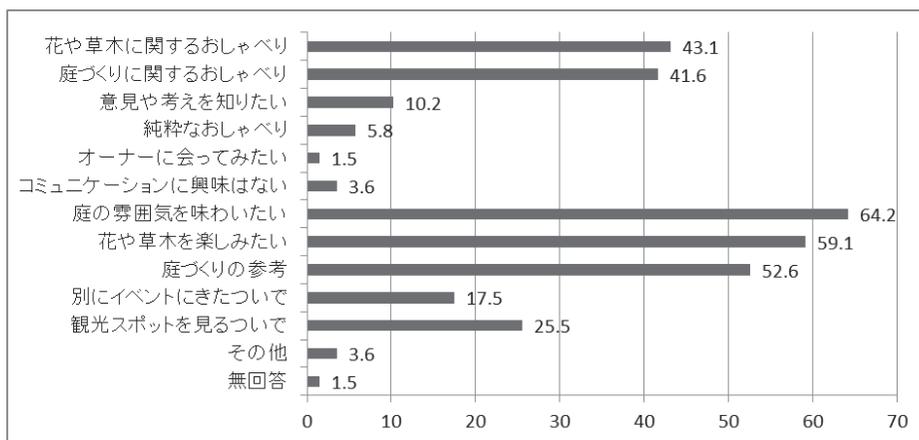


図5 訪問客が庭を訪問する際、求めていること (%)

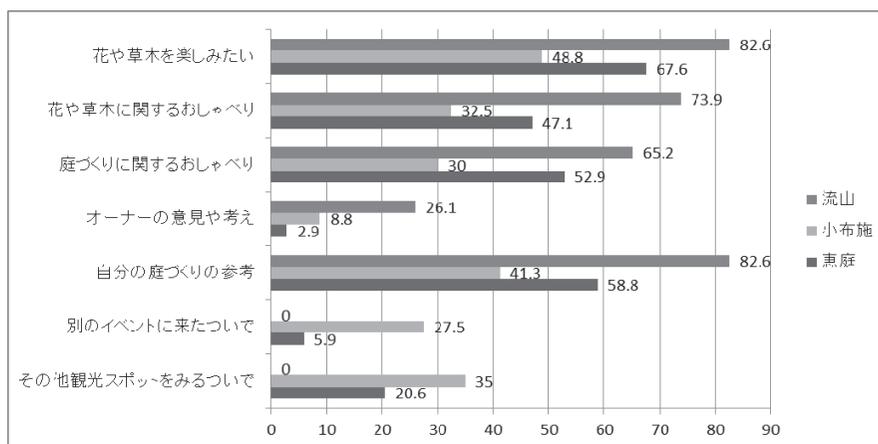


図6 地域別 訪問客が庭を訪問する際、求めていること (%)

### まとめと今後の展望

今回行ったアンケート調査結果からは、オーナーの意識が地域によって異なることが確認された。特に顕著な差が見られるのは、オーナーが庭を公開する理由と、訪問客をどのように考えているかについての地域差である。この地域差を生ん

でいるのは、オープンガーデンがどのような文脈の中で始まったか、どのような形態で実施されているかが影響を与えていることも確認された。

しかし、共通した見解として、オーナーが庭の公開に踏み切るきっかけは、庭やガーデニングを通じた何らかの交流を求めている傾向が強い。単純に庭を見て欲しいというよりは、「庭」をメディアとした交換過程が形成されることを望んでい

ることがわかった。しかし、訪問客とオーナーとの間では、“交換”に相当しない、地図上に記載すればすむような情報をオーナーが提供しなければならない状況も浮き彫りになっている。今後はオーナーを助ける情報が何かをさらに精査し、地図に記載できる可視化された情報するための検討が必要となる。オープンガーデンを着地型観光資源として定着させていくことで、町づくりの一翼を担う可能性についても今後の課題としたい。

最後に、本研究の調査実施に伴いご尽力頂いた、流山市ガーデニングクラブ花恋人のみなさん、小布施町役場、町会議員の関悦子さん、恵庭市役所、恵庭観光協会、花カフェキャロットオーナー内倉真由美さんに、お礼を申し上げます。また、突然の訪問にも関わらず、快く調査を引き受けてくださったオーナーの皆様心から感謝申し上げます。

#### 参考文献

- <http://www.eniwa-cci.or.jp/shokka/gardening/> ガーデニング 恵庭食花街道  
 相田明・進士五十八, 2001, 先駆的事例を通じた我が国におけるオープンガーデンの意義, 東京農工大学農学集報 46(3), 154-165  
 北川恵子・岡山敏哉, 2004, ガーデニング活動によるまちづくりの可能性に関する研究, 日本建築学会近畿支部研究報告集. 計画系 44, 689-692  
 土屋薫, 2013, 着地性観光支援ツールとしてのデジタルマップの可能性－観光情報とルート選択に関する考察－, 江戸川大学紀要 23, 245-253

#### 《注》

- (1) 公益財団法人日本生産性本部, 2014, 『レジャー白書 2014』, 日産性出版
- (2) 流山市常在人口 流山市役所ウェブサイト <http://www.city.nagareyama.chiba.jp/information/76/406/002238.html> (2014.11.15)
- (3) 小布施町役場ウェブサイト <http://www.town.obuse.nagano.jp/> (2014.11.15)
- (4) 恵庭市の人口 恵庭市役所 ウェブサイト <http://www.city.eniwa.hokkaido.jp/www/genre/0000000000000/1361430513073/index.html> (2014.11.15)

■まず、分析に必要な情報のため、あなたのことをお教えてください。

あなたの性別 n=137 Na=5.8

男性 31.4	女性 62.8
---------	---------

あなたの年齢 n=137 Na=0.7

20歳代 0.0	30歳代 1.5	40歳代 3.6	50歳代 11.7	60歳代 49.6	70歳以上 32.8
----------	----------	----------	-----------	-----------	------------

現在お住まいの地域はどこですか。 n=137 Na=0.0

流山市 16.8	小布施町 58.4	恵庭市 24.0
----------	-----------	----------

現在お住まいの地域にどれくらいの年数お住まいですか。 n=137 Na=0.7

( 平均 36.6 中央値 33.0 ) 年くらい住んでいる
--------------------------------

同居している家族構成を教えてください。 n=137 Na=0.7

一人暮らし 3.6	夫婦のみ 36.5	親と子ども 33.6	3世代家族 19.7	その他 5.8
-----------	-----------	------------	------------	---------

■オープンガーデンに対するあなたご自身の考え方についておたずねします。

質問1 「オープンガーデン」としてご自身の庭を公開している理由は何ですか。(○はひとつ) n=137 Na=5.1

1. 同じ趣味を持つ人たちと交流したいから 21.9	5. 人にすすめられて 19.7
2. 手間暇かけてつくった庭を見てほしいから 6.6	6. 付き合いで仕方なく 1.5
3. 誰かの庭づくりの参考になればと思って 5.1	7. 訪問した人の感想がききたくて 0.7
4. 住んでいる街の良さを知ってほしい 28.5	8. その他( ) 10.9

■お客さまと、あなたのお庭についておたずねします。

質問2 お客さまに、以下に挙げた1～16のようなことを質問されたことがありますか。

(あてはまるものすべてに○) n=137 Na=0.7 M.T=448.7

1. 花や木の名前や種類 83.9	9. お客さまがあらかじめ行くと決めてある庭までの道順 37.2
2. 花や木の育て方 58.4	10. トイレのある場所 10.9
3. 花や木の苗や種をどこで購入しているか 34.3	11. 食事や休憩をするところはどこか 27.7
4. 今の庭ができるまでの期間 39.4	12. 駅やバス停への行き方 24.1
5. 今の庭ができるまでにかかった費用 5.1	13. 周辺の駐車場 14.6
6. 庭のコンセプトやテーマ 18.2	14. 周辺の観光施設やオープンガーデン以外のみどころなど 20.4
7. ガーデニングに関する用品の購入先 22.6	15. ガーデニングやオープンガーデンに関係のない個人的なこと 8.8
8. おすすめの庭(見た方がいい庭)について 36.5	16. その他( ) 6.6

質問3 お客さまに、以下に挙げた1～17の中で、質問されて対応するのに手間取ったり、返答するのに困る質問がありますか。(あてはまるものすべてに○) n=137 Na=14.6 M.T=130.8

1. 花や木の名前や種類	25.5	9. お客さまがあらかじめ行くと決めてある庭までの道順	5.1
2. 花や木の育て方	9.5	10. トイレのある場所	4.4
3. 花や木の苗や種をどこで購入しているか	1.5	11. 食事や休憩をするところはどこか	5.1
4. 今の庭ができるまでの期間	5.1	12. 駅やバス停への行き方	1.5
5. 今の庭ができるまでにかかった費用	7.3	13. 周辺の駐車場	6.6
6. 庭のコンセプトやテーマ	1.5	14. 周辺の観光施設やオープンガーデン以外のみどころなど	2.9
7. ガーデニングに関する用品の購入先	1.5	15. ガーデニングやオープンガーデンに関係のない個人的なこと	7.3
8. おすすめの庭(見た方がいい庭)について	8.8	16. その他( )	2.2
		17. お客さまにきかれて困る質問はない	35.0

質問4—1 年間に訪問されるお客さまの人数を教えてください。 n=137 Na=23.4

年間訪問者数は (平均 1639.4 中央値 100.0 ) 人くらい ※無回答と0を除く

4—2 お客さまは、初めて訪問される方と、リピーター、どちらが多いですか n=137 Na=16.1

1. 初めて訪問される方 59.9      2. リピーター 24.1

質問5 お客さまは、庭を訪問する際、どのようなことを求めていると思いますか。 n=137 Na=1.5

(あてはまるものすべてに○) M.T=328.3

1. オーナーとの花や草木に関するおしゃべり	43.1	7. 庭の雰囲気を味わいたいから	64.2
2. オーナーとの庭づくりに関するおしゃべり	41.6	8. 花や草木を楽しみたいから	59.1
3. オーナーの意見や考えを知りたくて	10.2	9. 自分の庭づくりの参考にするため	52.6
4. オーナーと純粋におしゃべりがしたいから	5.8	10. 別のイベントに来たついでに	17.5
5. オーナーに会ってみたいから	1.5	11. その他の観光スポットを観るついでに	25.5
6. オーナーとのコミュニケーションにはあまり興味がない	3.6	12. その他( )	3.6

質問6 あなたのお庭は何を中心に構成されていますか(○はいくつでも) n=137 Na=0.0 M.T=221.9

1. 1年草・2年草	2. 多年草・宿根草・球根類	3. バラ	4. 樹木類	5. その他
38.7	72.3	38.7	62.0	10.2

質問7 あなたは庭のお手入れを主にどなたと一緒になさいますか(○は一つ) n=137 Na=5.8

1. 一人で	2. 配偶者	3. 親	4. 子ども	5. その他( )
46.7	35.8	2.9	1.5	7.3

質問8 あなたのお庭の見どころはどこですか

--

質問9 あなたはお庭を見に来てくださった方をどのように迎えたいですか？（○は一つ） n=137 Na=5.8

1. 自由に見て楽しんでもらう 83.2	2. 自分の庭の見るところを 説明したい 4.4	3. なるべくおもてなしをしたい 6.6
-------------------------	-----------------------------	-------------------------

質問10 お庭を見に来てくださった方で、ガーデニング以外にもお友達つきあいをしている方は何人くらいいらっしゃるでしょうか？大体の人数をご記入ください。 n=137 Na=20.4

（平均 15.6 中央値 10.0 ）人 ※無回答と0を除く

質問11 あなたには以下にあげたような友人がいますか。大体の人数を記入してください。n=137

1. 趣味を通じた友人 （平均 12.0 中央値 10.00 ）人 ※無回答と0を除く Na=19.0
2. 近所で親しくお付き合いしている人 （平均 8.00 中央値 5.00 ）人 ※無回答と0を除く Na=17.5

質問12 以下に挙げたようなことについて、あなた自身があてはまるところに○をつけてください。

（○は各行の数字に一つずつつけてください）

n=137 Na=4.4

	そう思 う	やや そう思 う	あまり そう思 わない	そう思 わない
1. 初対面の人と話をすることが苦手ではない	54.7	17.5	14.6	8.8
2. 色々な人と知り合いになることは楽しい	59.9	26.3	5.8	3.6
3. 現在住んでいる地域に愛着がある	74.5	15.3	4.4	1.5
4. ご近所同士、仲の良い地域だと思う	52.6	29.2	11.7	2.2
5. テレビや新聞で、住んでいる地域が取り上げられるとうれしい	66.4	23.4	2.9	2.9
6. 友達は多い方だ	40.1	24.8	21.9	8.0
7. 今の生活に満足している	63.5	24.8	5.1	2.2

■あなた自身のことについておたずねします。

質問13 あなたは1日平均どれくらい以下のようなメディアを利用しますか。利用分数または回数をご記入ください。利用しない場合は「0（ゼロ）」と記入してください。 n=137

1. テレビをみる 1日（平均 155.8 中央値 120.0 ）分 テレビは見ない 0.7 Na=2.2
2. 新聞を読む 1日（平均 36.4 中央値 30.0 ）分 読まない 6.6 Na=2.9
3. インターネットで調べものをする 1日（平均 50.4 中央値 30.0 ）分 調べない 48.2 Na=16.1
4. 携帯電話やスマートフォンで通話する 1日（平均 3.6 中央値 2.0 ）回 通話しない 23.4 Na=9.5
5. 携帯電話やスマートフォンでメールをする 1日（平均 3.7 中央値 3.0 ）回 メールしない 35.0 Na=10.2
6. SNSの利用時間 1日（平均 19.7 中央値 10.0 ）分 SNSはしない 67.2 Na=21.9

質問14 あなたは自分のホームページやブログで情報発信していますか？（○は一つ） n=137 Na=19.0

1. ホームページやブログを持っている → 質問14-1へ 10.9	2. ホームページやブログは持っていない → 質問15へ 70.1
---------------------------------------	--------------------------------------

## 14-1 どんな内容のホームページ・ブログが具体的に教えてください。

--

質問 15 あなたの余暇活動について、お尋ねします。

各質問に教えてください。

(○印は各行の数字に1つずつつけてください)

	ほとんどしない	たまにしかない	どちらともいえない	よくする	非常によくする	無回答
あなたは、園芸、庭いじりをしますか？	0.7	9.5	5.8	48.2	31.4	4.4
あなたはビデオの鑑賞（レンタルを含む）をしますか？	53.3	22.6	5.1	13.1	0.0	5.8
あなたは音楽鑑賞（CD、レコード、テープ、FM など）をしますか？	20.4	29.2	11.7	24.8	6.6	7.3
あなたは宝くじを買いますか？	62.8	22.6	2.9	5.1	1.5	5.1
あなたは余暇活動として外食をしますか？	9.5	49.6	12.4	20.4	2.2	5.8
あなたはカラオケをしますか？	66.4	19.7	2.2	5.1	1.5	5.1
あなたは映画を見に出かけますか？	51.8	34.3	1.5	7.3	0.0	5.1
あなたは国内観光旅行に出かけますか？	20.4	39.4	10.2	21.2	2.9	5.8
あなたはドライブに出かけますか？	11.7	35.8	14.6	27.0	6.6	4.4
あなたは、動物園、植物園、水族館、博物館に出かけますか？	23.4	40.1	12.4	15.3	3.6	5.1

質問 16 あなたの自由時間・余暇活動を思い浮かべながら、各質問に教えてください。

(○印は各行の数字に1つずつつけてください)

	全くそう思わない	あまりそう思わない	どちらともいえない	ややそのとおりである	全くそのとおりである	無回答
私は、自分の余暇活動に目的を持っている	2.2	13.1	17.5	39.4	23.4	4.4
私は、余暇活動に没頭するタイプの間人だ	5.8	22.6	27.7	27.0	13.1	3.6
他の生活面と同様、余暇にも打ち込んでいる	4.4	17.5	20.4	38.0	14.6	5.1
私は、余暇時間を充実させる手段を心得ている	6.6	12.4	30.7	37.2	8.0	5.1
余暇活動は私に自信を与えてくれる	2.9	12.4	29.2	40.1	11.7	3.6
余暇は自分の有能さに気づかせてくれる	5.8	18.2	48.2	20.4	3.6	3.6
私は、手応えのある挑戦的な余暇活動を好む	8.8	27.7	36.5	18.2	5.8	2.9
私は、自分の能力を少し超えているような余暇活動が好きだ	15.3	28.5	29.2	18.2	5.1	3.6

前ページ、「問16」の続き

	全くそう 思わない	あまり そうは 思わない	どちら とも いえない	やや その とおり である	全く その とおり である	無 回 答
私にとって、自由時間は面倒で厄介なものである。	57.7	26.3	10.9	0.7	0.0	4.4
自由時間があると、退屈してしまう。	51.1	32.8	8.0	3.6	0.0	4.4
自由時間のときには、何をしても無駄なような気がする。	56.9	29.9	6.6	0.7	0.7	5.1
自由時間の際、いつもやりたいことをやっているわけではないが、かといって、ほかにどうしたらいいかわからない。	48.9	33.6	10.2	2.9	0.0	4.4
自由時間に何かしたいのだが、何をしたらいいのかわからない。	59.9	29.2	5.1	1.5	0.0	4.4
自由時間の大部分を寝ることで過ごしてしまう。	62.8	23.4	8.0	0.7	0.7	4.4
余暇活動をそれほど楽しいとは思わない。	60.6	27.7	6.6	0.7	0.0	4.4
私は、余暇活動を楽しむ術（すべ）をあまり身につけていない。	48.2	29.9	16.8	1.5	0.0	3.6

質問は以上です。

ありがとうございました。